

哲 學 研 究

第 九 卷 第 一 冊

第 九 十 四 號

大 正 十 三 年 一 月 一 日 發 行

| | | | |
|-------------------------|------|----|----|
| 文化教育學の出るまで(完)…………… | 文學士 | 長田 | 新 |
| カントとシュライエルマツヘル(承前)…………… | 文學士 | 勝部 | 謙造 |
| 自由の可能に就て…………… | 文學士 | 世良 | 壽男 |
| シルラーが美學上の功績(完)…………… | 文學博士 | 深田 | 康算 |
| 彙報、其他…………… | | | |

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部

京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、『哲學研究』ノ配付ヲ受ケ
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|
| 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 | 文學士 |
| 植田 | 狩野 | 小西 | 高坂 | 澤村 | 高瀬 | 田邊 | 千葉 | 朝永 | 西田 | 野上 | 波多 | 深田 | 藤井 | 松本 | 務臺 | 米田 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 |
| 壽藏 | 直喜 | 重直 | 正顯 | 專太 | 武次 | 邊元 | 胤成 | 三十郎 | 幾多郎 | 俊夫 | 精一 | 康算 | 治郎 | 文三郎 | 理作 | 太郎 | 文學博士 | 文學博士 | 文學博士 |

前 號 目 次

| | |
|-----------------------------------|-------------|
| 文化教育學の出るまで(一)..... | 文學士 長 田 新 |
| 無 我 論..... | 文學士 手 島 文 蒼 |
| ヘッバーリン教授の訃と氏の教育説の基底たる神の論證に就て..... | 文學士 伊 藤 猷 典 |
| | 文學士 大 脇 義 一 |
| リンドゾオルスキイ「理論心理學撮要」..... | ジャック・アダマール |
| 公算論の諸原理..... | |
| 彙報、新著紹介、其他..... | |

會 告

本會創立以來多年の間會計事務を取扱はれし寶嚴方夫君は十一月下旬に腦溢血に罹り爾來大學病院にて療養中の處去月十六日午前五時二十分遂に永逝されましたから會員諸君に御知らせします。

當分の間會計事務は文學士伊藤猷典君に御願ひする事としました。

大正十三年一月

京 都 哲 學 會

告 會

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
- 二、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六叁番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部内 京都哲學會
振替口座大阪參〇六六叁番

註 文 規 定

- 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- 振替貯金にて御送金は(振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番)内外出版株式會社宛に願上候
- 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

| | | | | | |
|---------|--------|-----|----|---|---|
| 冊 | 數 | 定 | 價 | 郵 | 稅 |
| 一冊 | 金四拾錢 | 金壹錢 | 不申 | 受 | |
| 六冊(前金) | 金貳圓四拾錢 | 不申 | 受 | | |
| 十二冊(前金) | 金四圓八拾錢 | 不申 | 受 | | |

廣告料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十二年十二月廿五日印刷納本
大正十三年一月一日發行
第九十四號 第九卷 第一冊

不許複製
禁轉載

編輯者 京都帝國大學文學部内 京都哲學會

右代表者 伊藤 猷 典

發行者 大谷 仁 兵衛

印刷者 須磨 勘 兵衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部

發行所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版株式會社

振替口座 大阪三二九五番 東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南
出張所 京都市京橋區加賀町十番地
販賣所 京都市神田區錦町一ノ一
内外出版株式會社

實捌所 (東京) 東京堂 東海堂 北隆館
(大阪) 上田屋 至誠堂
(神戸) 寶文館 三文社
(京都) 共盛社 大瀨書店